

第9回みんなのタウンミーティング会議報告（令和5年度第6回）

- 1 開催日時 令和5年9月23日（土） 午前10時30分～12時00分
- 2 開催場所 市民会館・萌え木ホール
- 3 参加者 市長及び市民14名
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ（市政報告）
 - (3) 懇談（フリーテーマ）
 - (4) 閉会

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
1	長期基本計画について	<p>長期計画のことを聞いたところ、第5次小金井市基本構想・前期基本計画の概要版と、子ども版をいただきました。有償のものもあって、閲覧という形でその部署にはあったんですけど、それは3,800円って言われたんです。資料という形でこちらはデータが欲しいのに、なぜそれは有償で3,800円なのかと伺ったら、発行部数が400部だからと言われました。何に使うのか聞いたら、市議に配られたり、行政で使ったりしますということでした。</p> <p>この前期基本計画、これは令和3年度から令和7年度、前の市長の段階のものですよ。市長が変わっても何も変化とかあるわけでもないし、大枠は変わらないのか。前の市長のときに、逆に市議のほうでどんな形で意見を言っていたのか。この基本計画が令和3年度から令和7年度で、今ちょうど中間です。市長が変わって何が変わったのか、そこをちょっと大枠で聞きたいんです。小金井市が何に向かっているのというのが分からないです。</p>	<p>基本構想、これが令和3年度から令和7年度までの5年間計画であるが、市長が変わって何が変わったのというところを一番聞きたいということによろしいですかね。</p> <p>基本構想を何か修正するとかということはやっていないです。基本構想は2年前に策定したもので、それを私自身も市議会議員のときに、どこをどう意見したかというのは、ちょっと今すぐ出せないんですが、この基本構想をつくる時には、この基本構想を審議する特別委員会というをつくるんですね。これは全議員が入ります。素案を最初に出されたときから何度かその会議を開いて、各議員から意見を言ったり質問をしたり、場合によっては書面でまとめて出したりということは何度かやって。この計画は、長期計画審議会という市民参加でつくるもので、そのつくった素案を市議会でも審議するというを並行してやっていたんですね。</p> <p>ですので、私からすると、ゼロからつくらせていただけたら色々思うところはあるんですけど、この基本構想自体、私も市議会議員のときから一応審議に関わって、最後、この基本構想という部分については議会として議決をするんですね。そこを私も賛成した立場ですので、ここをまず大きく変えるということは考えていません。</p> <p>基本構想というのは、ちょっと時間をかけて読んでいただけると分かると思うんですけど、大枠の施策の方向性を書いていますので、極論で言うと、そんな具体的なことは書いてなかったりもするんですけど、それがどうかという意見もあったりもするんですけども、結局、その大きな方向性に沿って、具体的なそれぞれの各種計画をつくっていく。それに基づいて行政執行していく。これが、市役所の実務の流れですので、大きな考え方として、私としては、特に変なことは書いてないですし、小金井市の現状を踏まえると、こういう計画になるという認識はあるので、今のところは、基本構想を変えるということは考えていません。</p> <p>ただ、これは令和7年度までですので、8年度以降の5年間は後期基本計画というのをつくります。構想があって、5年間の前期基本計画、残り5年間の後期基本計画をつくるんですね。その後期基本計画は、令和7年度、1年間かけて、令和6年度から若干準備しますが、また審議会を開いてつくりますので、具体的な計画に落とし込む段階で、私なりに色々思っていることとかも反映できればいいなと思っています。</p> <p>自治体によっては、市長が変われば、基本構想というか、最上位計画そのものを公約も含めた形に、すぐにつくり直すという自治体もあったりもします。この基本構想、前期基本計画の進捗と私の公約に対しての進捗はどうかということですが、前期基本計画に関する進捗は、毎年市のホームページで公表しております。一方で公約に関しては、これは私自身がどう自分で進捗を評価して、どう公開するかという問題ですので、現段階では分けて取り組むということになると思います。</p>
2	市ホームページについて	<p>市のホームページについて、いまだに変わらないのはどうしてなのでしょう。</p>	<p>ホームページが使いにくいという声は沢山いただいております。市のホームページは、ページ数が膨大過ぎて、例えばリニューアルするにしても、少なく見積もっても1年半はかかります。ずっと言われていることでもありますので、何とかリニューアルしたいと考えています。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
3	子どもの遊び場等整備事業について	<p>私は、市内で冒険遊び場の運営や子どもの居場所事業をしているNPO法人を運営しております。先ほど、補正予算のほうで、小金井市が子どもの遊び場等整備支援事業というものをやるということで、ものすごく大きな事業だなと思いましたが、その対象公園として梶野公園が挙げられていて、うちの法人は梶野公園がオープンする際に、オープンのワークショップから、最後には梶野公園サポーター会議の運営支援の委託を受けるようになって、梶野公園には多く関わってきたものですから、もう一度、仕様書等を見させていただきました。その中で、幾つか意見を述べたいと思います。</p> <p>1つ目は、子どものワークショップの開催についてです。これについてはとても素晴らしいことだとは思っているのですが、どういうところにワークショップの案内を出して、どういう子どもたちを募集していくのかということなんです。その内容がインクルーシブということですから、障害があってもなくても、また、多世代であってもということ、多くの子どもたちに知らせて参加していただけるものになって、結果、この公園がというよりは、公園というものがどうあるべきかという方針のようなものが、子どもの中で意見がつけられるといいなと思っています。</p> <p>その予算の内容を見ると、どうやら補助金が出て、遊具がつけられるということになっています。その遊具ですけれども、インクルーシブな遊具というものを、じゃあ梶野公園や三楽に置くのか。試しに置いてみてアンケート調査等をするというふうには出ていましたが、梶野公園はそもそも、このワークショップをつくるに当たってユニバーサルデザインとか、子どもの生きる力とか、防災公園としての機能とか、基本方針がきちんとつくられてつくられた公園です。その基本方針の中でやはり、インクルーシブという言葉はないものの、多様な人たちがそこにいて集える、みんなに配慮するという、人の配置というのをすごく大事にしてきたわけです。</p> <p>サポーター会議というものが動いていて、水曜日には、子どもの遊び場に対しては、プレーパークの遊び場の皆さんたちが活動している。インクルーシブって、じゃあ、そういうハード面も設置すれば成り立つのか。インクルーシブって今すごく流行っていて、いろんなところでワークショップを開いています。国立市の事例を見ると、インクルーシブ公園の整備の中で、ワークショップの中では必ずハード面とソフト面というものの整備が必要だというワークショップが出ています。そうしたときに、事例として挙げられているのが実はプレーパークです。プレーパークって、ハード面みたいなものは、物のように感じられるかもしれませんが、実はプレーリーダーがいて、人を介在させて、そこに来た人たちと交流を促したり、あと、安全面とかの確保をしたり、そういうことがあるんです。</p> <p>遊具がつけられて、例えば、ああ、楽しそうだなって並んだときに、足が不自由な子どもたちが並んでいるって、その状態は絶対インクルーシブではないわけです。でもその間をとって、どうしたら合理的配慮ができるのかなというのは、人が入ってこそやはり実現できるのではないかと私は考えています。</p> <p>なので、一つは、対象公園が梶野公園とか三楽になっているけれども、実はインクルーシブな公園をまちの方針として広げるとしたら、今ある遊具をインクルーシブ遊具に変えていった方がいいのではないかと。今、梶野公園には遊具はないけれど、色んな所に遊具がありますよね。その遊具がインクルーシブな遊具に変わって行って、そこに出張プレーパークで人が行ったら、啓発が広がっていくのではないかと。そう私は考えています。長くなりましたが、意見ということでよろしくお願いたします。</p>	<p>御意見として受け止めさせていただきます。このインクルーシブ公園については、市議会議員たちもそういう提案をしていた経緯もあって、最初に、まだ確定しない中で検討している段階では、栗山公園も実は候補に挙がっていたんですね。最終的に梶野公園、三楽公園になったことの経過と、これからどうしていくかということについては、あまり不正確にはお答えできませんので、いただいた御意見をしっかり受け止めて、取り組んでいきたいとは思っております。</p> <p>梶野公園は、おっしゃっていたように、そもそも防災公園ということ、「遊具がそもそもないというのはどういうことか」ということも含めてつくられて、運営されてきたことは当然認識しております。やはりインクルーシブ公園というのがいろいろ話題になって、絵に出てくるのは全て遊具だったりもします。</p> <p>ただ、おっしゃるように、大切なのはその考え方であって、それを実現する手段が何かということ、目的と手段をごちゃにしないように、いただいた御意見を含めて担当課にもしっかり伝え、取り組んでいきたいと思っております。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
4	学童保育所の運営等について	<p>前回もタウンミーティングに参加して、学童のお話をさせていただきましました。定数に対して、今、児童率は150%とかそういう人数で、この数字はもう、お盆の時期の新幹線並みであるというお話です。現状は、ますます悪くなっていると感じています。</p> <p>今、各小学校でも、来年度、教室が足りなくなるかもしれないということで、増築などを行っているかと思えます。児童がどんどん増えていけば、当然、学童の子どもたちもどんどん増えていき、かつ、その子どもたちがいるべき場所の特別教室とか、学童保育所として集まれる子どもたちを預かる場所とかがどんどんなくなっていくと思います。小金井市は保育園を随分誘致しましたので、保育園の数は、私の感覚的に七、八倍ぐらい増えているかなと思っています。その子どもたちが当然大きくなって、小学校に入っって、学童に行き、今、小学校の状況としては、クラスの半数以上は学童に行くような状況になっています。</p> <p>どうしても目先が保育園に行きそうなんです、子どもたちは成長していくわけですし、小学校に入ったからお仕事してみようかなという御家庭もあるかと思えますので、学童の子どもたちはどんどん増えていきます。ただ残念なことに、どうも学童って見捨てられているようで、昨年度切れたトイレの電気が変えられないとか、女子トイレのちょうつがい壊れているんだけれども直しに来てくれないとか。せめて、人数がどんどん増えてしまうところはしょうがないかと思うんですけども、せめてそういう、簡単に人が動けば何とかなるようなところだけでも状況を直してほしいなと思っています。</p> <p>緑小学校では、もう学童保育所に貸す部屋はないと言われているそうです。じゃあ、その子たち一体どこに行くのかなというふうに思っています。前回お話したときには、民設民営の学童保育所の話があり、実際に募集も始まっているかと思えますが、保育園と違って、学童保育所というのは子どもたちが自分たちの足で通う場所だと思います。学校から離れている学童に子どもたちが来てくると歩いて通うなど、保護者の方はそういうところを選ぶのか。もしくは車で送迎するならば、小学校に送迎用の車がずらっと並ぶのか。民設民営の状況と、その辺の考え方を聞かせていただければと思います。</p>	<p>おっしゃっていただいた問題提起は本当にそのとおりでして、この間、市議会でもずっとそういう話題にはなっておりましたが、抜本的な対策といえますか、「長期的にどう計画的に取り組むか」ということが出来ていなかったというのが、これまでの実態だと認識しております。</p> <p>今、御紹介いただいた民設民営学童については、1社申込みがあったということで、いま内容を精査しているところで、具体的には申し上げられないですけども、バスでの送迎ということも1つ、選択肢として考えてもいるとは聞いておりますが、これはまだ確定的な話ではございません。</p> <p>できれば、市として、小学校の敷地もしくはすぐ近隣に、しっかりとした学童保育所を整備できるのが一番良いわけなんですけれど、やはり場所の問題といえますか、学校のすぐ近くは大体もう住宅が建ち並んでしまっって、学校の敷地の中も、学校によっては建てられない状況でもあるということで、非常に苦慮しているのが現状です。</p> <p>ただ、頂いた問題提起はそのとおりでございまして、緑小学校の例も出されましたが、東小学校も、特別教室を全部潰して増築をしておりますので、そこでまた一定解消はされますが、抜本的な課題解消にはならないということでございます。</p> <p>放課後の子どもたちの過ごす場所の在り方そのものを大きな枠組みでしっかりと捉えると、その一つがやっぱり学童であるということ。では、その学童をどうするか。学童以外の、放課後子ども教室やそれ以外の居場所づくりを総合的に進めていくということも必要なんですけれども、まだ明確にお答えできる状況にはないので、大変申し訳ありませんが、担当課を含めて、庁内挙げて、学校教育部とも連携をしながら、しっかりとこの課題について引き続き取り組んでいきたいと思っております。</p>
5	図書館の返却ポストについて	<p>私は1年半前に杉並から越してまいりました。私自身、小金井の図書館を全部見ました。武蔵野プレイスにも行って、本を借りて来るんですが、返さないといけない時間がすぐ回ってくるんです。でも武蔵野市なので、(小金井市に)返却ポストがないんです。武蔵野プレイスの方に聞いたら、それは市が違うからできませんって言われました。できたら、駅の前的小金井市の返却ポストの横でもいいから(武蔵野プレイスの返却ポストを)置いてもらえないかと思いました。</p>	<p>まず、武蔵野プレイスの返却ポストを駅前においてほしいという件なのですが、大変申し訳ありませんが、これはちょっとできないと思います。御意見としてまずは受け止めさせていただきます。</p>
6	交差点の信号について	<p>東小金井駅のマルエツのある十字路で、私はこの間ちょっと危ない目に遭ったので、交番がすぐあるから聞いてみたら、事故は多いですとおっしゃっていました。信号がどうなるのか、そういうことが知りたいなと思っています。</p>	<p>マルエツ前の交差点ですが、あそこは信号機を設置する予定になっています。今年いっぱい今年度中か、ちょっと今、正確にはお答えできませんが、それぐらいの感覚で信号機設置という予定になっております。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
7	不登校について	<p>昨年度は、全国小中学生においては24万人という不登校児童・生徒数を数えております。これは、過去9年間、増加傾向にあるという形で、小金井市においても令和4年度5月に発表されておりますけれども、小金井市で、小学校で150名、中学校で120名、それぞれ出現率も増加しております。</p> <p>そのことを踏まえて、今、教育委員会の方では、不登校は必ずしも学校へ戻すことを目的とせず、多様な学びの場への理解を示しておられます。ただ、このことは、地域を含めて、理解がまだまだ行き届いていないのではないかと印象を受けております。学校が、不登校でも利用できるような居場所として変わっていくことも議論しなければいけないとは思っております。あくまで小金井市はそういう方針で不登校の数をカウントしていますということです。</p> <p>とはいつても、小金井市に問題がないというわけではありませんし、当然、不登校のお子さん、もしくはその御家庭の方からも、私自身も直接、多数お声も寄せていただいているところです。おっしゃっていただいたように、地域全体が、まず今の不登校の状況、もしくはそういう子どもの置かれている状況みたいなことも含めて、しっかり理解する必要があると思っております。学校へ戻すという、以前の国の方針が間違っていて、どんどん不登校が増えていったといいいます。ここから平成28年に国も大きく方針を変え、学校に戻すのではなく、その学びをどう保障していくかという、いろんなやり方をしっかり模索していくという方針に変わりましたので、私もそうですし、教育長もそうですし、基本的にはその立場に立って、どうやっていこうかというのを今、模索しているところです。</p> <p>学校には行きたいという子どもの思いを叶えるためにも、別室の教室を設けるということも最近始めました。また、それだけじゃなくて、民間に通っている方への経済負担をどうするのかという議論も今、始まっているところです。</p> <p>ですので、どうやってあらゆる子どもたちの学びを保障するか。そういう子どもたちはここにいていいんだよという場所を保障するかということは、これはもう市を挙げて取り組まないといけないことだと思っております。市内横断的な連携ということで、担当課もしくは教育委員会はそういう認識があるものの、市役所全体としてそこまでの認識にしっかり落とし込めてないような気はしますので、それをどうやって市内にまず浸透させて、そういう認識に立って、どこかの部署でもそういう対応ができるのかということについては、やり方をいろいろ模索しながら考えていきたいと思っております。</p>	<p>市長からの回答等</p> <p>全くの同感です。不登校の出現率の話もありました。出現率が東京都平均よりも高いというのが、小金井市は特に小学校はそうなんです。ただ、この数字の捉え方については、教育長もちょっと議会の説明も最近加えるようにはなりましたが、例えば、学校を休む理由のところの分析を、不登校、あと病気、経済的理由とか、いろいろあるんですね。そういう選択肢の中でいろんな自治体は、その中の不登校の割合というのが6割とか7割というところが多いというような話だったと記憶していますが、小金井市は9割となっています。</p> <p>あらゆる可能性はあるにせよ、学校に一定期間来ていないということの段階で、不登校という位置付けにはして、しっかりと子どもに対してどう向き合っていくかということを学校、教育委員会も支援をして話し合っているという状況ですので、出現率が高いというのは、小金井市が突出して不登校が多いというのではなく、小金井市はできるだけ子どもたちにちゃんと向き合えるような数字の教え方をしているという、こういう説明をしております。あくまで小金井市はそういう方針で不登校の数をカウントしていますということです。</p> <p>とはいつても、小金井市に問題がないというわけではありませんし、当然、不登校のお子さん、もしくはその御家庭の方からも、私自身も直接、多数お声も寄せていただいているところです。おっしゃっていただいたように、地域全体が、まず今の不登校の状況、もしくはそういう子どもの置かれている状況みたいなことも含めて、しっかり理解する必要があると思っております。学校へ戻すという、以前の国の方針が間違っていて、どんどん不登校が増えていったといいいます。ここから平成28年に国も大きく方針を変え、学校に戻すのではなく、その学びをどう保障していくかという、いろんなやり方をしっかり模索していくという方針に変わりましたので、私もそうですし、教育長もそうですし、基本的にはその立場に立って、どうやっていこうかというのを今、模索しているところです。</p> <p>学校には行きたいという子どもの思いを叶えるためにも、別室の教室を設けるということも最近始めました。また、それだけじゃなくて、民間に通っている方への経済負担をどうするのかという議論も今、始まっているところです。</p> <p>ですので、どうやってあらゆる子どもたちの学びを保障するか。そういう子どもたちはここにいていいんだよという場所を保障するかということは、これはもう市を挙げて取り組まないといけないことだと思っております。市内横断的な連携ということで、担当課もしくは教育委員会はそういう認識があるものの、市役所全体としてそこまでの認識にしっかり落とし込めてないような気はしますので、それをどうやって市内にまず浸透させて、そういう認識に立って、どこかの部署でもそういう対応ができるのかということについては、やり方をいろいろ模索しながら考えていきたいと思っております。</p>
8	新庁舎と図書館の建設について	<p>今回初めてこのタウンミーティングに参加しました。一般の市民の方がたくさんお見えになっているということで、非常に期待しております。</p> <p>まず市庁舎をどうするかということです。もう3年も4年も前の市長のときからやっけていまして、意見が進まないというふうな。市長さんが悪いんじゃないかと、市議会議員の方もやっぱり協力していないということも聞いていますので、そういう面を一番最初にやっていただきたいです。</p> <p>あと、市には本当に寂しい図書館しかないということで、これについては早急に、市庁舎と同じぐらいの勢いで、早めにやってほしいということが意見です。</p>	<p>まずは新庁舎建設について、私自身が早期に建設するというご約束をしたこともあるし、改めて市長になつていろいろ分析して、職員とも早く建てないといけないと話しています。今の本庁舎は、老朽化して、配管もすぐ臭つていて、もう夏場なんてフロアにも臭いが充満してくるぐらい大変な状況です。</p> <p>これ以上ちょっと庁舎建設が延びるとなると、本庁舎はもう50年以上経ちますので、何とかテコ入れせざるを得なくなってしまうんですが、それでまた余計なお金を使う、それでさらに新庁舎建設が先延ばしになってしまうという、こういう状況もあります。ですので、まず、新庁舎建設を実現することによって、跡地活用をどうするかということも具体的に動き出せるんです。新庁舎のスケジュールが決まらない限り、図書館も大きな事業になりますので決まりません。</p> <p>ですので、まず新庁舎はどのようなスケジュールで進むかということをご確定させ、そこから、図書館など市民ニーズの高い施設をどうしていくかという具体的な検討に入っていけると思いますので、御意見として重たく受け止めさせていただきます。</p>
9	転入時の外国人への対応について	<p>8月に二、三歳の子をバギーに乗せたアメリカ人の方がいて、あれっと思うことがあったのでちょっと声をかけて話したら、来てまだ10日ほどで、子どもも本当は幼稚園や保育園へ行きたいんだけど、それはどうしたらいいかと聞かれて、そういうのは市役所へ行けばいいって答えました。市役所で転入届を出したときに、子どもがいるのが分かったら、何かアドバイスなどを言ってあげているのでしょうか。</p>	<p>外国人の支援という点については、まず、転入の窓口でどういう御案内ができていくか、ちょっとつぶさにお答えできませんので、ちょっとまたこれは確認をさせていただきます。子育てをしている外国人の方が、まず、どこに相談に行ったらいいか分からないということですね。その事実を担当課にも伝えて、どういう対応がまた今後考えられるのか、そういったことは話し合っていきたいと思っております。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
10	東小金井駅周辺の施設整備について	<p>今、東小金井駅前の北口のほうの開発の計画が進んでいるので、状況を注視しているところなんですけれども、それについて、現状どうなっているのかの確認と御提案をさせていただきたいと思っております。</p> <p>以前、公共施設というキーワードが出てきていたと思うんですけども、最近の計画にはそういうフレーズが出てきていないなというのが気になっています。2013年頃、「東小金井のリビング」というキャッチフレーズを覚えていらっしゃる方もいるかもしれませんが、その時点ですと図書館的な機能、生涯学習的な機能を持たせるという案でイメージを膨らませてきていたと思うんですけども、最近は駅前の広場のことばかりで、当初は「緑と文化が香る」というキャッチフレーズも出ておりましたが、文化のほうはどこへ行ったのかなというのをちょっと気にしております。</p> <p>特に図書館ということで、市内の図書館はいずれも駅から非常に遠い。また、駐車場すらないということで、どうやって行けばいいのか、という所が多いです。場所がとれないということであれば、予約した本を受け取れるだけでもよいので、駅前にそういった機能があれば市内も活性化するかなと思っております。</p> <p>高架下に市政センターをつくるという案も出ていたと思っております。役所の窓口をあちこちに増やすというよりも非対面で申請できることが増えていけば問題ないと思いますので、本当に必要な機能は何かというのを公共施設として考えていただきたいと思います。</p> <p>駅前の公共施設で、もし何かできるならという前提でもう一つ機能として提案したいのが、屋内型の子どもの遊び場です。今、子ども家庭支援センターにある「ゆりかご」、あちらはあくまで小さい子向きといえますが、ちょっと大きくなった子が全身を使って走り回れるようなスペースは全くございません。新しい庁舎の計画を見ましたけれども、あまり広いスペースは確保されていないかなと思っております。</p> <p>今、ボーネルンドといった民間の会社が幾つかの自治体と連携して大型の遊び場を運営している例が幾つかありますので、ぜひ参照していただきたいと思っております。全天候に対応した屋内型の遊具で遊べる施設というのがあったらいいと思います。特に公園や図書館は無料で使えるので、市民でないということはないんですけども、民間の施設ですと、市民と市民じゃない方で差をつけることができますので、人口誘致していくという観点からも魅力的なものになるんじゃないかなと思っております。</p>	<p>市長からの回答等</p> <p>東小金井の北口に関してですが、東小金井北口のまちづくり事業用地の整備活用計画というのがあります。これが平成25年だったと思うんですが、もう10年間これが実現していないわけです。場所は、けやき保育園の隣、今、駐車場となっているところなんですけれども、一応そういう場所は小金井市として持っています。</p> <p>この整備計画が、今、保留にされているといえますか、一旦実現できませんという扱いになっているのは確かです。これは、実はこの計画をつくったとき、私は当時まだ、計画をつくっている段階では一般市民だったんですけど、その審議会は傍聴していましたが、結果的に、この計画をつくる段階で、財政的な理由によりスケジュールどおりつけれない可能性がありますということがもう既に示唆されて、それはそのままそういうふうになってしまったという状況です。</p> <p>「東小金井のリビング」というテーマは、広場もありながら、そんな大きな施設じゃないんですけども、公共施設も一定程度ちゃんとつくるという整備計画ではありますが、ここは多世代が集う居場所にするという、こういうテーマでした。ここの敷地を今駐車場に使っているのは、単に更地にしておくのはもったいないということで、少しでも駐車場収入を稼げるという方法をとったからです。ただ、それを駐車場として整備することも含めて、東京都からお金を借りている関係で、少なくとも10年間と言われていましたので、小金井市として新たにここを整備するのは令和10年以降になります。</p> <p>今この整備活用計画がありますが、このままやるかというのはやっぱり考えものだなとは思っています。これをつくったのはもう既に10年前です。今から5年後にじゃあ整備するとすると、またいろんな状況であったりだとか、市政課題といえますか、いろいろ変わってきているのと、やはり図書館については、かなりいろんな市民であったり、議会でも多数御意見をいただいて、何とかしてほしいということも言われています。あと、屋内の子どもの遊び場については同様な意見も多数もらっていますので、改めてどこかの段階で、ここを整備するのが令和10年以降なので、早ければ2年、3年後ぐらいには、この計画を、例えば見直すのか、見直すのだったらどういうふうにしようか、ということを変更して整理していく段階が入ってくるんだらうなと思われま。</p> <p>まだ確定的なことは言えないんですけども、ただ、もうずっと駐車場のままではもったいないし、特に梶野町ですが、東小金井の北口エリアは公共施設がほぼない状況ですので、そういった観点からも、ここをどう効果的に活用するかというのは本当に重要なポイントだと思っています。私も東町に住んでいますからいろいろ思いはあるんですけど、今おっしゃっていただいた図書館であったりだとか、屋内型で子どもたちが遊べるようなスペースであったりだとか、そういうことについては考えないといけないというふうには思っているところで、</p> <p>あと高架下に市政センターを設置するというももとの予定があったんですが、これはちょっと見直しになるかもしれません。新庁舎が蛇の目跡地というところにある予定なんです。今は、武蔵小金井ですけども、それが東小金井と武蔵小金井のちょうど真ん中に来ることによって、東小金井駅にそもそも市政センターが要るのかどうかという話になります。</p> <p>この市政センターというのが、つくろうという話のときには、今のように、例えば、住民票をコンビニで取れるとか、マイナンバーが普及しているとかっていう状況ではなかったんで、やはりどこか便利な窓口として職員を配置する必要があるよねという観点から、もう20年ぐらい前から、市政センターを東小金井という話もあったんですけども、新庁舎ができるという状況、あと、いろんな証明書もコンビニ等で取れるようになってきたという、利便性が向上した観点からも、市政センターではなく、それをどういう公共施設でいくかということも、実は別の観点で、庁内で検討を始めるところですので、何かしらの活用はしたいと思っております。</p>
11	路上喫煙の禁止について	<p>現在、路上喫煙は、路上喫煙禁止条例で、環境美化の目的で駅前を中心に一応禁止されているという状況だと思います。それとは別に、健康増進の目的で、小中高の隣接する路上等を追加で禁止するのはどうかという提案です。</p> <p>まず、現状として、以前よりも禁止エリアのステッカーが多く貼られているなど個人的に思っていて、日々、活動ありがとうございますと思っております。ただ、禁止エリア内にもやっぱりタバコの吸い殻とかが落ちてくる状況です。子どもがよく通るところに喫煙所が設置されていたりして、ちょっと子どもを育てる身として考えものだなと思っているので、このような提案をさせていただいております。</p> <p>清瀬市とか調布市とかで、小中学校に隣接する路上を喫煙禁止にするようなところがあるらしくて、そちらを参考にそういうふうなのはどうかというご提案です。</p>	<p>路上喫煙の禁止区域の話ですね。御提案としては、小学校の隣接というか、その近隣も禁止区域に追加してはどうかということですね。御意見、まず受け止めさせていただきます。</p> <p>自治体によっては、地域全面を禁止区域にしているところも増えてきました。ただ、一方で、それをやっているところというのは大体において、公衆喫煙所というのをちゃんとボックス型で設置している。要するに、禁止するだけではなくて、ちゃんと吸える場所も担保するという、要するに管理するという方向です。だからといってポイ捨てとか路上喫煙が完全になくなるわけではないと思うんですけど、小金井市は、立川までだったか、そこまでの中央線沿線では唯一、駅前に公衆喫煙所がないということを実は議会からも指摘をされておまして、そういうことも含めている整備が必要かなというふうには考えています。</p> <p>ただ、この路上喫煙や喫煙環境の話とかも含めて、ポイ捨ても多いということもずっと言われていますので、これについては、引き続きできる取組をやっていきたいと思います。</p>